

●全ての県内企業経営者の方々へ贈る元気な経営応援コラム

元気のもと!

2年前、山梨県で国産ワインコンクールが開催されて以来、国産ワインの静かなブームが巻き起こっています。そんな中、県産品種「甲州」をはじめとする県内産ぶどうのみを使用したワインを造り続け、その認知度を全国レベルにまで押し上げようとしている県内ワイン産業界の若き貴公子がいます。今回は機山洋酒工業(株)の土屋幸三社長に元気のコツをお聞きしました。



機山洋酒工業株式会社社長の土屋さん

Q: 県内はもとより国内においても、貴社のワインの品質が非常に高く評価されているのですが、技術的な「こだわり」を教えてください。

A: はい。ワインの製法において「こだわり」はどちらかというとあまり好きではありません。ワインというのはその年々の様々な条件によってまったく異なるものが出来あがります。その特徴を生かすことや、マイナスの要素を取り除くために様々な作業を施しています。与えられた状況に対し既存の技術にこだわらず臨機応変に対処していくことが必要なのです。

Q: なるほど、お客様のもとによいワインを届けるために、これまでの考え方に縛られず細かなことにも妥協を許さない姿勢が「こだわり」であるんですね。

A: そうありたいと日々努力しています。販売面においてもお客様との繋がりは大切にしています。実は、小売店に対しては全体の3割程度しか卸していないのです。7割以上はホームページからメール等を通じた直販を行っています。これにより、直接お客様のニーズを把握することができるし、要望に対しても細かなケアをしていくことができます。

Q: 今後の事業展開はどのようなものになるのでしょうか。

A: 原料であるぶどうに限りがあるので量産は難しい業界です。より質の高いワインをつくり付加価値の向上に努めていくしかないと思っています。また、そうしていくことで、甲州というブランドの地位を不動のものとし、県内ワイン産業界全体の発展に繋げていくことができると信じています。

NEWS Vol.90

2005.07

通巻90号 山梨県工業技術センターニュース

Contents

Page 1 元気のもと!

Page 2 所長就任の挨拶, 工業技術センター行動計画について

Page 3 トピックス

Page 4 工業技術センターからのお知らせ

・ 地場中小企業重点支援事業, 受託研究等について

Page 5 ・ 保有設備等利用促進事業について

Page 6 ・ 高度技術人材育成研修について

Page 7 ・ デザイン塾等について

Page 8 知的財産権関連の紹介, 創意工夫功労者賞について
職員の紹介



機山洋酒工業株式会社

〒404-0047 山梨県塩山市三日市場3313

TEL:0553-33-3024 / FAX:0553-32-4119

所長就任の挨拶



所長
手塚 芳郎

この4月に中込前所長の後任として当センターの所長に就任いたしました。技術的には素人ではありますが、地場中小企業がそれぞれの分野における独自の技術に磨きをかけ、持てる力を最大限に発揮することにより、国際的競争にも勝ち抜いていけるよう、必要な支援に積極的に取り組んで参りますのでよろしくお願いいたします。

当センターでは、「行動する工業技術センター」を基本理念と位置付け、企業の立場に立った支援を行うよう心がけるとともに、変化の激しい産業界のなかで意欲ある企業を積極的に支援することにより、技術力の向上はもとより、競争力ある固有の技術を伸ばすこ

とに鋭意努めております。

今年度は行動計画に掲げる支援の質的向上を図るため、また、実用化・製品化の段階においてよりきめ細かな支援が求められていることを踏まえ、新たな取り組みとして、デザインの視点に立った商品開発を支援するための企業巡回を開始いたしました。これにより、技術支援の段階から商品の最終形態であるデザイン開発の支援までを一貫して行い、迅速な商品化をサポートしていくこととしております。

さらに、当センターが保有する機器や知的ノウハウについて、企業の課題解決に役立つと思われる機器や、利用したいが操作が難しいと敬遠されがちなものなどについて、その操作方法や使用例などを企業の皆さま方にわかりやすく解説していく研修会などを開催し、利便性の向上を図って参ることといたしております。

これまで以上に積極的に当センターをご活用いただき、個々の企業のみならず県内産業全体の発展につなげていただければと強く思います。なお一層のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

平成17年度 工業技術センター行動計画について

平成17年度行動計画のねらい

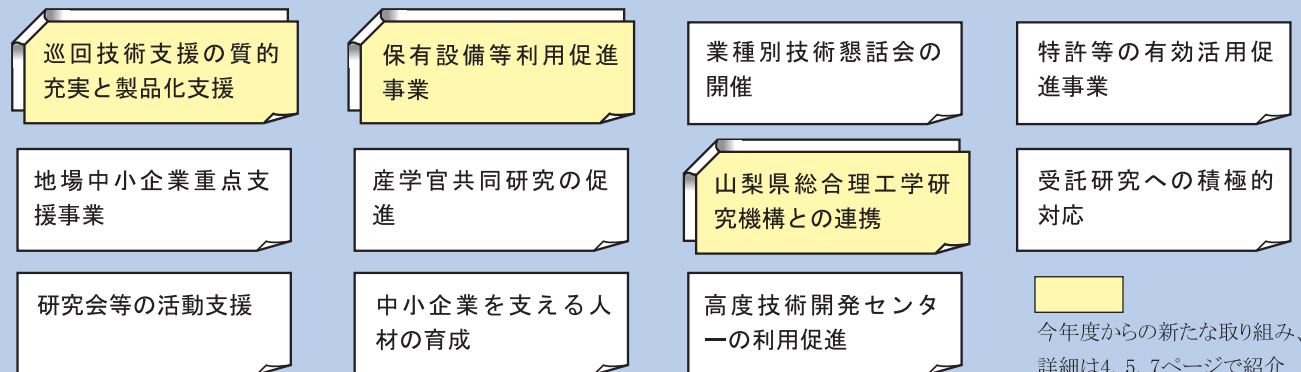
県の長期総合計画「創・甲斐プラン21」の部門計画である「山梨県産業振興計画」や今年度、山梨県総合理工学研究機構が設立されたことを踏まえ、「技術支援」と「研究開発」を積極的に進めていく上での「指針」とし、地場中小企業の技術力や研究開発を高め、競争力ある製品を生み出す企業の育成や県産品のブランド化を図るとともに、新産業の創出に繋げていくことをねらいとしています。

基本視点 「行動する工業技術センター」を基本コンセプトとし、次の5つの視点から支援を行って参ります。

- | | |
|----------------|--|
| ① 現場重視の視点 | 「来所支援」から「現場での支援」の強化。 |
| ② スピード化への対応の視点 | 産業界ニーズを的確に把握し、迅速な対応。 |
| ③ シーズを育てる視点 | 創造的なシーズを保有する企業への総合的な支援。 |
| ④ 特許実用化技術重視の視点 | 特許の取得や、流通移転促進などへの積極的支援。 |
| ⑤ 連携と融合の視点 | 大学、企業等及び県の他の試験研究機関との連携を図り、新商品・新技術開発につなぐ。 |



具体的な柱 (事業)



トピックス

平成17年度第一回運営協議会

平成17年6月10日

センター運営全般について、学識経験者・業界代表者等からご意見・ご提言をいただくため、第一回運営協議会を開催しました。当センターからは、平成16年度の業務実績報告と本年度に実施する行動計画と研究計画について説明し、その後、意見交換を行いました。

その中で「山梨独自の技術開発や山梨ブランドの確立に向けた研究を望む」、「異業種間の技術交流の場を設けて欲しい」などのご意見、ご要望をいただきました。



業種別技術懇話会

業界ニーズの的確な把握と密接な連携をねらいに次のとおり開催しました。

業界団体から「今後も業界ニーズに合った講習会を開催していただきたい」、「最新鋭の機器や設備の導入を図って欲しい」などのご意見、ご要望をいただきました。

水晶宝飾関連(平成17年7月1日)

- ・山梨県水晶宝飾連合会

基盤技術関連(平成17年7月12日)

- ・山梨県プラスチック交流会
- ・山梨県鍍金工業組合
- ・山梨県鉄鋼協会
- ・山梨県ITデバイス工業会
- ・山梨県青年工業会

機械電子関連(平成17年7月6日)

- ・(社)山梨県機械電子工業会

地場産業関連(平成17年7月22日)

- ・山梨県アパレルソーイング工業組合
- ・山梨県漬物協同組合
- ・山梨県酒造組合
- ・山梨県ワイン酒造組合
- ・山梨県菓子工業組合
- ・山梨県味噌醤油工業協同組合
- ・山梨県ニット工業組合
- ・西嶋和紙工業協同組合



機械電子工業会との懇話会



外部評価委員会

平成17年6月16日

平成16年度に研究が終了した10課題について、外部評価委員から事後評価をいただきました。

評価委員の皆様からは、「早期な技術移転を望む」「将来高い市場性が期待される」など、今後の進展を期待する声が多くありました。

研究成果発表会

平成17年4月21日

昨年度実施した26の研究課題について、口頭やポスターによる成果の発表や成果品の展示等を行い、関係業界から120名を超える多数の参加をいただきました。

発表会に対するアンケート調査では、個別の研究テーマに対する感想などの他

「山梨ブランドとなる産業の創出に繋げていただきたい」

「今後もさらに製造現場に直結した課題に取り組んで欲しい」

などのご意見、ご要望をいただきました。



技術講習会

次の技術講習会を開催しました。

建具技術講習会(平成17年5月17日)

テーマ:「合板の種類とその特性および使い方」

消えるチャコ技術講習会(平成17年7月15日)

テーマ:「消えるチャコペンについて」

繊維技術講習会(平成17年6月17日)

テーマ:「アパレル製造技術の他分野への展開について」

EMC技術講習会(平成17年度7月22日)

テーマ:「電気回路の基礎」

工業技術センターからのお知らせ

★ 現場でお手伝いします（地場中小企業重点支援事業）

地場中小企業の皆様が技術開発や新規分野開拓など創造的な取り組みを推進する上で障害となる技術的課題に対して、企業の製造現場に一定期間当センター職員や客員研究員を派遣し企業技術者と連携する中で課題の解決に当たります。



商品デザインの基礎知識向上に係る支援

➤ 詳しい支援の流れについてはホームページをご覧ください。 <http://www.yitc.go.jp/jyuuten.html>

★ 受託研究(有料)を利用しませんか（受託研究事業）

企業が技術力や設備、人材などの不足により、自らによる実施が困難な研究を、当センターが企業に代わり有料でお引き受けする事業です。

積極的なご利用をお待ちしております。

➤ 詳しい支援の流れについてはホームページをご覧ください。 <http://www.yitc.go.jp/jyutaku.html>

★ 研究会に参加しませんか（異業種交流グループ育成）

現在、技術を核として活動している研究会は次のとおりです。

積極的にご参加ください。

● 研究会一覧

山梨県食品技術研究会	サブレ開発研究会	山梨県ニット研究会	インテリアデザイン研究会
新商品開発技術研究会	宝石加工技術研究会	山梨県表面処理研究会	プラスチックリサイクル研究会
タグアンテナ研究会	光造形技術研究会	山梨県型技術研究会	インテリジェント加工研究会
EMC研究会	組み込み技術研究会	鉛フリーはんだ研究会	バイオプリザベーション研究会
ワイン高品質化技術研究会	リユース食器研究会	微細加工・評価研究会	高齢者弱視者対応型手摺開発研究会

○問い合わせ先：技術高度化総合相談窓口 TEL 055-243-6140

★ 講習会開催のご案内

● 和紙技術講習会

テーマ：機械漉き和紙の加工技術について
 ○日程：平成17年8月22日 19:00～21:30
 ○会場：市川和紙工業協同組合 会議室
 ○問い合わせ先 ニット縫製・木工科

● 電子技術講習会

テーマ：鉛フリーはんだの信頼性評価について（課題）
 ○日程：平成17年9月28日 13:30～
 ○会場：当センター
 ○問い合わせ先 システム開発科

★ 巡回技術支援の質的充実と製品化支援を推進します

今年度
行動計画新規事業!

新商品開発における技術支援の段階から、商品の最終形態であるデザインの開発までを一貫してサポートしていきます。

これまで、ものづくり担当の職員、デザイン担当の職員がそれぞれの分野における課題解決を目的として、個々に企業巡回支援を行ってきましたが、これらの職員が一丸となって企業を訪問することにより製品化を見据えた総合的な支援を行います。

★ センターの設備をあなたの会社に活かしてみませんか（保有設備等利用促進事業） 今年度
行動計画新規事業！

次の9種類の設備について、初めての方にも簡単に扱える研修会を開催いたします。
積極的にご参加ください。（各コースとも定員10名程度）

設備名：レオメータ

歯ごたえも数値化できます

食品類の硬度（硬さ）などの測定ができ、食感などを客観的に評価することができます。

研修会日程：平成17年10月13日

設備名：7-リ変換赤外分光光度計

有機材料クレーム対策の必需品

試料中に含まれている有機化合物の定性分析に使用することができます。

研修会日程：平成17年10月13日

設備名：卓上型蛍光X線分析計

自社商品の成分ご存じですか

金・プラチナなどの合金、ルビーなどの宝鉱石の成分分析や含有成分の元素、含有比率などがわかります。

研修会日程：平成17年10月18日

設備名：高周波波形観測装置

高周波の信号が確認できます

電子回路内などで電気信号の変化を観察する装置です。1GHzの桁まで測定できます。

研修会日程：平成17年9月29日

設備名：3次元CG・モデリング機

あなたの思いをカタチにできます

工業製品のデザイン作成やビジュアルプレゼンテーション資料の作成ができます。

研修会日程：平成17年9月16日

設備名：色差計

わずかな色の違いがわかります

食品類の色調を評価することができ、鮮度保持情報を得たり、製造工程の管理が行えます。

研修会日程：平成17年10月20日

設備名：顕微鏡観察装置

2000倍の世界でくっきり

高倍率の拡大観察はもちろん、簡易的な寸法測定ができます（塗装めっき膜、半田のつきまわり性の検証にも利用していただけます。）。

研修会日程：平成17年10月6日

設備名：高周波材料特性測定装置

電子部品きちんと評価してますか

電子材料の誘電率・透磁率、電子部品の1/10°-ガ-を測定することができます。

研修会日程：平成17年9月29日

設備名：環境試験器

その製品、この環境に耐えられますか

温度、湿度を一定あるいは任意に変化させて、電子機器や部品の性能評価を行うことができます。

研修会日程：平成17年9月28日

参加をご希望の方は、
下記様式に必要事項をご記入のうえ、
055-243-6110（工業技術センター）
までFAXでお申し込み下さい。（なお、定員を
超えた場合はお断りする場合があります。）
○お問い合わせは総合相談窓口まで
TEL 055-243-6140

設備等利用研修会

参加申込書

企業名		連絡 担当者		TEL	
				FAX	
設 備 名	参 加 者 名	設 備 名	参 加 者 名		

★ ものづくり研修を開催します（高度技術人材育成研修）

工業技術センターでは、高度技術を持つ人材の育成のため、次の内容の研修を実施する予定となっております。

具体的なカリキュラム及び日程が決まり次第、別途ご案内申し上げます。積極的なご参加をお願いいたします。

- 日 程 平成17年11月から12月（おおむね20課程）
- 研修時間 午後1時30分から5時まで
- 定 員 各課程とも10名程度
- 受講料 各課程3,000円（ただし、技術セミナーは無料です。）

		課 程	内 容
基盤技術コース	精密測定・評価・加工技術	精密測定機器、評価機器等を用いた計測方法と評価法 ・三次元座標測定機 ・非接触表面形状測定器（新規設備） ・走査型プローブ顕微鏡 ・平面度測定器（レーザー干渉計） ・電子顕微鏡（SEM像観察、EPMA）	・各種精密測定機器を用いた長さ、形状精度、表面粗さ計測と評価方法について ・新規導入した非接触表面形状測定器を用いたナノメートルオーダの表面粗さ計測について ・電子顕微鏡による表面観察と分析方法について
		高度技術開発センターの設備を用いた切削・研削加工技術及び被加工物の違いによる適正な切削工具、研削砥石等について ・精密マシニングセンター ・平面研削盤 ・エキシマレーザ加工機等	・高度技術開発センターの設備を用い、実際に加工を体験して各種加工技術を修得する ・最新の加工技術と適正な工具・砥石等の選定法
高度技術コース	CAD ／ CAM ／ CAE	・三次元CAD ・CAD互換ソフトウェア ・CAMを用いた曲面加工 ・CAE解析手法	・三次元CADの作成方法とCAMを用いた加工方法の修得 ・CAE解析手法の修得
	技術セミナー	仮題 ・最新のナノテクノロジー ・最新工程管理技術 ・現代のものづくり等 計5テーマを予定	・超精密・微細加工の現状と新素材等の最新技術を紹介 ・製造業の改善活動やプロセス革新のヒントを紹介



講師を招いての技術セミナー（昨年度）



設備を前にした実施研修（昨年度）

○お問い合わせ先：高度技術開発部（藤原、岩間）

★ 山梨県総合理工学研究機構との連携を進めます 今年度 行動計画新視察!

今年度、新産業の創出を狙いとして、既存の県立試験研究機関を横断的・有機的に連携させたネットワーク型の組織、山梨県総合理工学研究機構が設立されました。

当センターは、今年度この連携の中で他の研究機関や企業等と連携を図りながら、今後の発展が期待できるバイオテクノロジーを応用した分野について総合的な研究を行って参ります。

研究テーマ名

● **地域農産素材等の機能性解明と高付加価値製品の開発**

県特産野菜等の機能性成分の分析と評価を行い、機能性を明らかにした各種農産素材を用いて機能性食品の製品化を目指します。

● **未利用農林産物系バイオマスの利用技術の開発**

燃料用メタノール、エタノール、水素の生産システムの開発と廃棄残渣の肥料化技術を開発します。

● **栽培条件の異なるブドウ〔甲州〕を用いたワインの個性化醸造技術の確立に関する研究**

県内4地域における成熟度別ブドウ〔甲州〕中の香気成分の解明と醸造法別による香味の特徴あるワインの醸造技術を確立します。

★ 実践力を備えた企業内デザイナーを育成します（やまなしモノづくりデザイン塾）

- 工業技術センターでは、商品開発力、企画力、設計力など実践力を備えた企業内デザイナー（デザインプロデューサー）を育成することを目的として、やまなしモノづくりデザイン塾を開催する予定です。
- この研修は、デザイン及びマーケティング手法を活用した商品開発の総合的な実務能力を修得できるよう、また、研修成果が業務にすぐにフィードバックできるよう、次のコース設定で9月中旬から順次開講します。

「デザイン」の基礎を正しく理解し、明日からの商品開発の武器にする

デザイン・商品開発基礎力強化コース ————— 全 8回
(=デザインプロデューサー初級) [定員:30名]

→ デザインと商品開発の基礎を正しく理解し、業務においてデザインを武器として使いこなすためのノウハウを修得します。

ユーザーに高い評価を得る高いオリジナリティと魅力ある商品案を創造する

コンセプト立案力強化コース ————— 全 8回
(=デザインプロデューサー中級) [定員:20名]

→ 研修後、外部デザイナー等と連携することで、短期間のうちに商品の具体化を図ることのできる独自性・具体性のある自社商品のコンセプトを作り上げていきます。

商品案を具体化し、効果的な市場投入を図る

マーケティング力強化コース ————— 全10回
(=デザインプロデューサー上級) [定員:20名]

→ 実際にすぐに自社で取り組むことが可能な具体性・計画性を有した商品企画書・マーケティング戦略書を作り上げていきます。

- 詳細な開催案内は別途送付いたします。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

お問い合わせ先：デザイン技術部 デザイン振興科（串田・秋本）

知的財産権関連の紹介

特許取得

- ・ **果実茶の製造方法** (特許第3667004)
ももやりんごなどの摘果果実を利用して作る果実茶の製造方法に関する特許です。

特許出願

- ・ **盗難防止用展示パネル** (出願日 平成17年2月22日)
組み込み技術を中心に無線通信技術やICタグ技術などを活用し、貴金属製品展示物用の信頼性の高い盗難監視システムに関する技術です。
- ・ **鋼材部材、鋼材の熱処理方法および熱処理装置**
(出願日 平成17年5月23日)
薄い鋼材あるいは直径の小さな鋼材であっても熱変形させることなく、外表面に300μm未満の硬化層を形成させることのできる技術です。

創意工夫功労者賞について

**工場等の現場で創意工夫に
貢献された方はいませんか**
(文部科学大臣表彰創意工夫功労者賞について)

この表彰制度は、企業の製造現場で働く従業者を対象とするもので、特に、工程改善や創意工夫などによる収益向上や公害、災害の防止などに貢献された方々を大臣表彰するものです。企業からの積極的な推薦をお待ちしています。

推薦は8月26日までをお願いします。

詳細については、
山梨県工業技術センター 電話055-243-6111
にお問い合わせ下さい。

職員の紹介

深澤 親房 客員研究員



深澤親房客員研究員

深澤親房客員研究員は、(独)食品総合研究所室長を経て、平成16年から当センターの客員研究員として指導いただいています。専門は、タンパク質の分離精製や解析ですが、遺伝子解析にも精通しています。

その風貌も相まって、まさしく「博士」とお呼びしたい方です。食品・バイオ技術でお悩みの方は是非ご相談下さい。

趣味はカラオケで、甘い声で軍歌などを歌われます。

センターのご利用に関して

初めてのご利用、またご不明な点等
がありましたらまずご連絡を・・・

技術高度化総合相談窓口

電話 055-243-6140 (直通)
E-mail techmado@yitc.go.jp

